

令和6年度「相模線複線化等促進期成同盟会」要望活動の実施について

相模線複線化等促進期成同盟会（会長：相模原市長）では、神奈川県や沿線4市1町、沿線の経済団体と連携し、相模線の複線化の実現に向けた活動を行っております。
この度、次のとおり要望活動を実施いたしましたのでお知らせします。

1 日 時

令和7年2月12日（水） 午前10時から午前10時20分まで

2 要望先

東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長 矢野 精一 氏

3 要望者

相模線複線化等促進期成同盟会 会長 相模原市長 本村 賢太郎

4 参加者

- ・相模原市長 本村 賢太郎
- ・海老名市長 内野 優
- ・茅ヶ崎市副市長 塩崎 威
- ・座間市長 佐藤 弥斗
- ・寒川町長 木村 俊雄
- ・神奈川県 県土整備局 都市部長 近藤 修宏

5 主な要望内容

別添要望書のとおり

6 矢野横浜支社長の発言概要

相模線の複線化は、莫大な設備投資を要するため、資産の効率的な活用という経営課題と併せて考慮が必要であり、現時点では厳しい状況であると認識している。今後の沿線まちづくりや地域公共交通の変化、またお客さまのご利用動向など総合的に判断し、長期的に検討する必要があると考えている。

【要望活動の様子】



（左から）近藤県土整備局都市部長、佐藤座間市長、内野海老名市長、本村相模原市長、矢野横浜支社長、木村寒川町長、塩崎茅ヶ崎市副市長